

イキイキ

あさひっ子



ふるさとの自然 (64)

太平洋を一回り アカウミガメ

○市内の砂浜にも産卵

日本の海には数種類のウミガメがすんでいますが、千葉県付近の海で見られるほとんどがアカウミガメです。アカウミガメは甲らの長さが1m、体重100kg以上にもなる大きなカメで、エビやカニ、クラゲ、貝などを食べます。毎年5～8月の夜、砂浜に穴を掘り産卵します。近年市内の砂浜にも少数が産卵するようになりましたが、太平洋側では北限に近い場所になります。

○厳しい旅立ち

写真の子ガメは横芝光町の砂浜で撮影したものです。この年産卵した中で子ガメがなかなか出てこない場所があり、研究者と一緒に調べてみると、産卵場所が波をかぶり、砂が固まって出られなくなっていました。掘ってみると卵は140個余りあり、一部は孵化していました。そこで子ガメを海に放したのですが、波打ち際にたどりついて波に戻され、ひっくり返ってしまい、なかなか海に出られませんでした。

この後子ガメは北上して太平洋を一回りし、再び日本に帰ってくるのは20～30年後になると考えられています。

(旭市文化財審議会委員 齊藤敏一)



みゆう
心結ちゃん(上)
平成24年4月24日生
ひろと
寛人くん(下)
平成26年11月4日生
両親=布施大輝さん
絵里さん(二)

2人ともすくすく大きくなあれ！
早く2人で遊べるといいね♡

えみ
笑愛ちゃん

平成26年5月15日生
両親=渡辺将史さん
宏美さん(川口)

たくさん笑ってたくさん愛される
笑愛ちゃんです！よろしくね！



かいせい
海慳くん
平成25年10月17日生
両親=林義人さん
由香さん(神宮寺)

お散歩大好き！！
上手に歩けるようになったよ～♪



“イキイキあさひっ子”を大募集

掲載を希望する人は、秘書広報課広報広聴班(〒289-2595 旭市二の1920・☎62-8070)へ。対象は小学校入学前の幼児です。申込用紙は旭市保健センター、飯岡保健センター、旭市子育て支援センターハニカム、子育て支援課、秘書広報課、各支所にあります。

編集こぼれ話

本号では合併10周年を記念し、旭市誕生から10年の足跡を特集で紹介しています。ということで私もこの10年を振り返ってみることに。①10年前の7月1日、合併に向けて徹夜の電算システム移行作業。市役所で朝を迎える②ゆめ半島千葉国体で式典担当。音響機器を操作する手が震える③東日本大震災発生。対応に走る④広報担当になり、カメラ片手に東奔西走⑤メタボ健診に引っ掛かる——。などいろいろな出来事がありました。皆さんにとってはどんな10年でしたか。(た)

くらしのカレンダー

6日(月)	あさひ砂の彫刻美術展(～8月7日(金)) 矢指ヶ浦海水浴場特設会場)
11日(土)	矢指ヶ浦・飯岡海水浴場オープン
18日(土)	サマーフェスタin矢指ヶ浦(矢指ヶ浦海水浴場) 旭市営海浜プール開設(～8月30日(日)) ミス七夕コンテスト(午後1時30分～ 東総文化会館)
20日(月)	海の日
25日(土)	旭市いいおかYOU・遊フェスティバル (～26日(日) 飯岡海水浴場とその周辺)